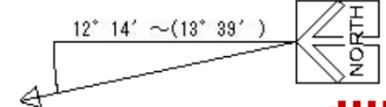


土地利用計画及び配置計画・施工計画について（事業者の提案と市の意見）

要検討・スケートボード等人口が増えている人気スポーツへの対応
・周辺住民への配慮



要検討は、事業者の提案に対し、今後内容を特に精査する必要があると市が考えているものです。

■基本コンセプト

- ・遊ぶ、学ぶ、交流する場
- ・豊かな自然に囲まれた屋外を中心とした活動の場
- ・複数のアイテムが交差する多様性のある場
- ・老若男女誰でも使え、参加できる場
- ・未来を見据えた発展のある場

■スポーツゾーン

【役 割】人気の高いスポーツ施設の提供
【整備方針】良好な性能を持ったスポーツレクリエーション施設として整備する。テニスコート8面、多目的に利用可能な広場の空間整備。フットサルコート相当1面、3on3コート1面
【施工計画】現況地盤を確認しながら、高低差の検討を行い、野球場の地盤と同程度まで造成整備を行う。既設のテニスコートと重なるため、花の散歩道ゾーンと一体的に最初に整備する。

■既存樹林ゾーン

【役 割】公園中央部に位置した緑の核。木陰の休息、コミュニケーションエリア
【整備方針】整備は最小限とする。樹木密度を確認後間引きを行い、快適な樹林地を形成する。多目的広場への変換は、緑の核を消滅させる。全体の土地利用を見たときこのエリアは遊戯、休息エリアに含まれると考える。
【施工計画】地被類の生育が不良で土壌流亡が予想されるため、園路への土留め及び地被植栽する。

■賑わいゾーン

【役 割】公園のさらなる魅力の創出
【整備方針】社会実験を行い整備内容について、来園者の意見を確認し設計に反映する
【施工計画】周辺施設整備終了後、民間活力の導入に向けたP-PFIも見据え、実施設計、整備工事を行う。計画地は地盤が凹状態になっている。砕石置換え、杭等の基礎について基本方針を検討する。

要検討

・来園者はもちろん、周辺住民の意見収集方法についての検討

■緩衝調和ゾーン

【役 割】賑わい施設と自然林の間の緩衝帯
【整備方針】林の中心を保護するため、樹林地周辺にマント群落を整備する。境界は「粗朶」等で囲い、生物の住処にも配慮する
【施工計画】賑わいゾーンの盛土工事に対する樹林地保護工事を、周辺に先駆け優先的に実施する。

■保護樹林ゾーン

【役 割】流山市の自然林（遷移途中）の見本林
【整備方針】整備は行わない。経過観察を行い、境界に出現するクズ等のつる植物を除去する。
【施工計画】特別な施工は実施しないが周辺工事の土砂、雨水等が侵入しないよう素掘り側溝等設置する。

■エントランスゾーン

【役 割】流山セントラルパーク駅からの賑わいのエントランス
【整備方針】賑わい施設と一体的に公園の顔=玄関となるデザインを行う。賑わい施設を貫通して公園内に導く動線整備。
【施工計画】周辺施設整備終了後、実施設計、整備工事を行う。

■花の散歩道ゾーン

【役 割】公園内各種施設への主動線・管理主動線
【整備方針】桜並木再整備による花街道
【施工計画】現況地盤を確認しながら、野球場運用中も鋼板バリケード等を設置しサービスは提供する。スポーツゾーンと一体的に最初に整備する。

■駐車場ゾーン

【役 割】公園利用者用駐車場
【整備方針】現在混雑している駐車場は、施設整備に伴う利用者増が予想される。可能な限り駐車場スペースを増築する。
【施工計画】周辺施設との取り合いを調整し、スポーツゾーンと同時期又は次に整備する。

■エントランスゾーン

【役 割】公園北西部エリアへのエントランス。待ち合わせ、イベント等の実施。
【整備方針】待ち合わせ後、公園内へ移動するため、公園全体サイン、公園利用ルールサイン整備。イベントが可能な小広場を整備する。
【施工計画】スポーツ施設整備と一体的に施工する。

■緩衝ゾーン

【役 割】住宅ゾーン・教育ゾーンとの緩衝・安全性の確保。
【整備方針】植栽、フェンス等で道路境界部と公園を区分する。
【施工計画】千葉県区画整理事業との調整により施工する。

要検討

・満車時の対応
・目的外利用の抑制

要検討

・駅からの主たる動線について、将来出入口することを予定している流山エルズ側の角との差別化

■集合住宅ゾーン

■教育ゾーン

